

2021年度 桐生市・みどり市精神保健福祉講演会

これからのメンタルケア～アフターコロナ時代を仲間と共に健康で生きるために～

【実施主体】群馬県桐生市、みどり市

【概要】

自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こり得る危機」であり、その場合には誰かに援助を求めることが適切であるということが社会全体の共通認識となっていくよう、普及啓発を目的とした取組。2年に一度、桐生市・みどり市共催で実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、今回初めてオンライン開催（Youtube 配信）にて実施。高崎健康福祉大学の池田 朋広准教授に講師を依頼し、「これからのメンタルケア～アフターコロナ時代を仲間と共に健康で生きるために～」と題し、一般市民向けに講演会を行った。

【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する

【政策パッケージ分類】

- 基1) 地域におけるネットワークの強化
- 基2) 自殺対策を支える人材の育成
- 基3) 住民への啓発と周知
- 基4-1) 居場所づくり
- 基4-2) 自殺未遂者等への支援
- 基4-3) 遺された人への支援
- 基5) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
- 重1) 子ども・若者
- 重2) 勤務・経営
- 重3) 生活困窮者
- 重4) 無職者・失業者
- 重5) 高齢者
- 重6) ハイリスク地
- 重7) 震災等被災地
- 重8) 自殺手段
- その他（いずれにも該当しない、妊産婦、マイノリティ等）

【事業実施年度】2021年

【事業予算】 ¥24,586（桐生市：¥14,586 みどり市：¥10,000）

内訳 報酬費（講師謝礼）：¥20,000（桐生市：¥10,000 みどり市：¥10,000）

需用費：¥3,750（桐生市：¥3,750 みどり市：¥0）

役務費（郵送料）：¥836（桐生市：¥836 みどり市¥0）

【利点】

- ▼受講者が、自らの「心の不調」への対応方法を学ぶことができる。
- ▼「心の不調」を抱えた時に利用できるサービスや行動を知ることができる。
- ▼どんな人にも「心の不調」を感じることを理解することができる。

【実施に至るまで】

背景・必要性・理由の概要

- ①2012～2016年度（市自殺対策計画策定時に用いた統計数値の年度）における桐生市の自殺死亡率の平均値が国・県と比較し高い。（桐生市：23.8、群馬県：22.4、全国：19.6 自殺総合対策推進センター「地域自殺実態」プロフィールデータより）
- ②2018年度に実施した「桐生市ころろに関する意識調査」の結果、「自殺は繰り返されるので周囲の人が止めることはできない」そう思う51人、ややそう思う57人、計108人（16.8%）、「自殺は自分にはあまり関係がない」そう思う199人（31.0%）、「本気で自殺したいと考えたことがある」ある88人（13.7%）。
- ③みどり市と共催で、精神保健福祉講演会とボランティア養成講座を毎年交互に開催している。共催となった背景について、両事業とも2011年頃まで、桐生保健福祉事務所が管轄市町村である桐生市民・みどり市民を対象に実施していたため、2012年頃の県から市への実施主体の移譲の際、桐生市・みどり市共催で行うこととし、現在も続いている。

事業計画を立てる上での工夫

- ①自殺対策の観点と、精神保健に関する一般市民が知りたい情報の観点から、講演会の内容を検討した。
- ②会場での開催とオンライン開催とでは、申込者の年齢層に違いが生じると考えられ、開催の形式を検討した。

事業の具体的な内容

- ▼「2021年度 桐生市・みどり市精神保健福祉講演会」の開催。
 - ・開催方法 オンライン開催（各市 Youtube チャンネルによる申込者限定の期間限定配信）
 - ・開催期間 2022年1月11日（火）～2022年1月28日（金）
 - ・対象者 一般市民
 - ・講師 高崎健康福祉大学 准教授 池田 朋広先生
 - ・演題 「これからのメンタルケア～アフターコロナ時代を仲間と共に健康で生きるために～」
 - ・申込方法 メール（必要入力事項：氏名、年齢、住所、電話番号）
 - ・申込期間 2021年12月7日（火）～2021年12月24日（金）
 - ・周知方法 各市広報、チラシ配布（各市窓口、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等の関係事業所）、各市HP、桐生市 Twitter、桐生市 Facebook、みどり市 LINE、桐生市ふれあいメール、昨年度精神保健福祉ボランティア養成講座受講者へ通知送付

【成 果】

- ▼会場での開催と比べオンライン開催では人数の制限がないため、過去の桐生市・みどり市精神保健福祉講演会と比較して申込者が多かった（91人）。
- ▼開催期間中であれば、好きな時間に何度でも視聴することができたため、申込者から高評価であった。
- ▼受講者が、「心の不調」を抱えた時に利用できるサービスや行動（WRAP等）を学ぶことができた。

【補 足】

- ▼特になし（チラシ、アンケート結果については別添）。

【課 題】

- ▼アンケート回収率が低かったため、アンケートの回収方法について検討が必要である。

| | |
|-------------|---|
| 【事業種別】 | 普及・啓発事業 |
| 【準備期間】 | 180日 |
| 【人数】 | 4人（担当職員） |
| 【人口規模】 | 桐生市：107,601人、みどり市：49,988人（2021年4月1日現在住民基本台帳人口） |
| 【財政規模】 | ¥43,800,000,000（2021年度一般会計当初予算） |
| 【自治体負担率】 | 50%（補助金名：地域自殺対策緊急強化事業費補助金（事業予算は、桐生市とみどり市の按分で行い、みどり市との共催事業として実施した。）） |
| 【事業対象】 | 一般市民 |
| 【支援対象】 | 一般市民 |
| 【委託の有無】 | 無 |
| 【実施主体・問合せ先】 | TEL：0277（46）1111 群馬県桐生市保健福祉部福祉課 Mail：fukushi@city.kiryu.lg.jp |

【参考資料・文献】